

平成29年度(2017年度)

管理事業名	文化財保護事業				総合計画の体系	第4章 第4節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 多様な文化が交流するまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 8	文化財保護費		
部局名	地域教育部	予算執行所属		文化財保護課					
予算大事業名 文化財保護事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
<b>事業の目的と概要</b> ・文化財調査事業 埋蔵文化財の発掘調査を行い、出土した遺物等の整理作業を行い、報告書等の作成を行います。有形文化財等市内に所在する文化財の調査を行います。 ・文化財保存啓発事業 文化財調査の成果をまとめ、報告書を作成します。教育委員会で管理する史跡等の管理に努め、文化財の保存・活用等の啓発をはかります。また、文化財の保存と活用をはかるため、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出します。 ・吹田学事始め事業 地域の身近な文化財の調査を行い、その成果をまとめます。 ・旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業 歴史的・文化的価値が高い建物の保存と文化財としての価値や味わいを生かした活用をはかります。 ・旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業 旧中西家住宅の保存・公開並びに調査・研究・活用をはかります。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設入館者数		8,966	7,967	6,722	施設が主催する事業の参加人数及び入館者数
旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)	人	7,380	6,117	4,531	
旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)		1,586	1,850	2,191	
開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数	件	167	173	115	開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及び文化財調査件数
成果の説明	・旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)では一般公開とともに施設主催事業が行われていることから年間入館者等の数は約4,500人ですが、旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)では公開回数等の人数の制限が設けられ、施設主催事業がないことから年間約2,200人となっています。旧西尾家住宅及び旧中西家住宅の増減は、旧西尾家住宅が保存に重点を置いた運用に見直したためであり、旧中西家住宅では平成28年度より水・土・日曜日に実施していた住宅と庭園見学会に加えて火・木・金曜日に庭園公開を実施したためと考えられます。 ・開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数については埋蔵文化財の発掘調査、工事時の埋蔵文化財の立会、市内に所在する有形文化財等の調査の合計件数で、年間約100件以上ありますが、近年発掘調査では1件当たりの面積等が増える傾向にあります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	500	8,739	9,211	472
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	209	454	245	△209
経常収入 小計(a)	709	9,193	9,456	263
給与関係費	88,412	83,718	88,925	5,207
物件費	19,101	33,011	33,498	488
維持補修費	1,643	2,240	1,864	△376
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,374	6,180	6,385	205
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	25	25	25	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,860	4,944	5,639	695
退職手当引当金繰入額	2	2,720	12,352	9,632
支払利息	1	1	0	△0
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	116,419	132,838	148,689	15,850
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△115,710	△123,645	△139,233	△15,587
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	122,718	122,718
特別収入 小計(d)	-	-	122,718	122,718
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	122,718	122,718
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△115,710	△123,645	△16,514	107,131
一般財源充当額	122,343	126,139	132,248	6,110
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	6,633	2,493	115,734	113,241

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 ・国庫支出金	旧西尾家住宅耐震診断委託料による国庫支出金の増加(472千円)
給与関係費	主に職員における退職者の復帰による職員人件費・共済費等の増加
物件費	国庫補助による旧西尾家住宅耐震診断委託料等の増加
負担金・補助金・交付金等	有形文化財等修理補助金等の増加

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	709	9,042	9,456	414
行政サービス活動支出	123,027	135,155	141,679	6,523
行政サービス活動収支差額	△122,318	△126,113	△132,223	△6,109
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	25	25	26	0
財務活動収支差額	△25	△25	△26	△0
収支差額 合計	△122,343	△126,139	△132,248	△6,110
一般財源充当額	122,343	126,139	132,248	6,110
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 埋蔵文化財緊急発掘調査等費1,840千円、旧西尾家住宅事業収入177千円・耐震診断費7,371千円他 (財務活動支出)リース資産(パソコン)にかかる返済債務26千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入館者1人あたりのコスト	平成27年度	8,966人	5,593円	施設の経常経費(旧西尾家住宅42,452千円・旧中西家住宅20,050千円、合計62,502千円)を施設入館者数(6,722人)で割って算出すると、1人あたり9,298円のコストがかかっています。
	平成28年度	7,967人	7,670円	
	平成29年度	6,722人	9,298円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末	平成29年度末	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末	平成29年度末	差額 B-A
	A	B			A	B	
現金預金	-	-	-	流動負債	4,969	5,663	694
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	4,944	5,639	695
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	26	24	△2
有形固定資産	790,649	913,343	122,693	その他流動負債	-	-	-
土地	790,601	913,320	122,718	固定負債	54,770	61,036	6,266
建物・工作物	0	0	0	地方債	-	-	-
リース資産	48	23	△25	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	54,746	61,036	6,290
無形固定資産	151	151	-	リース債務	24	-	△24
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	59,739	66,699	6,959
建物・工作物	-	-	-	純資産	731,061	846,795	115,734
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	790,801	913,494	122,693	負債及び純資産の部合計	790,801	913,494	122,693

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

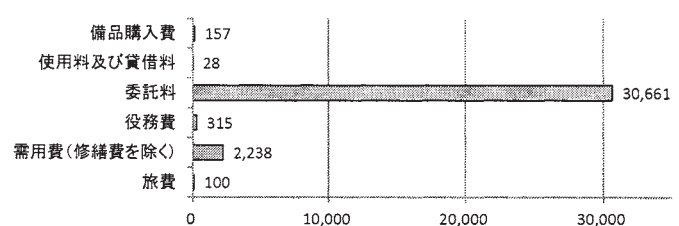
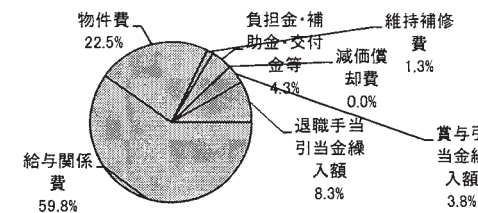
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	9人	7人	772日	10人	106,916
給与関係費等	83,151千円	19,895千円	3,869千円		
内、時間外勤務手当	812千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
リース債務	リース資産(パソコン1台)に係る返済債務25千円

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	(単位:%)			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.4	93.3	93.3	0.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【貸借対照表】  
文化財保護事業は、913,343千円(土地913,320千円、リース資産23千円)の固定資産を有しています。  
【行政コスト計算書】  
経常費用は148,689千円であり、最も大きいのは給与関係費の88,925千円、次に大きいのは物件費33,498千円、次が退職手当引当金繰入額12,352千円となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・旧西尾家住宅は建物等は国指定重要文化財で、庭園は国登録記念物(名勝)であり、現在国所有で管理を吹田市が行っています。建物は明治26年(1893)～大正年間にかけて建築されたもので、現在は応急的な修繕のみが行われています。将来的に大規模な解体修理が必要と判断され、それに向けて平成28年度から平成29年度の2か年で耐震診断を実施し、その結果を踏まえて旧西尾家住宅保存活用検討会議で策定した保存管理活用計画に反映してまいります。  
・旧中西家住宅は建物等は市指定有形文化財、国登録有形文化財であり、庭園は国登録記念物(名勝)となっています。建物等は江戸時代後期～明治時代に建築されたものです。現在は応急的な修繕が行われていますが、新たに建物屋根・柱に損壊部分が確認され、これを修繕する必要があります。将来的には大規模な解体修理等が必要となります。  
・埋蔵文化財の調査は大半が民間の開発に伴う緊急調査であり、調査の事業量全体の把握が困難です。有形文化財等の調査は所有者等の協力が必要ですが、文化財に対する理解は高いとはいえ、継続して文化財保護の啓発を推進することが必要です。